

第 4 回 中央区自治協議会 会議概要

開催日時	令和 3 年 7 月 30 日（金曜）午後 3 時から午後 4 時まで
会 場	新潟市民プラザ（NEXT21 6 階）
出席者	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">委 員</div> <p>日野浦委員、玉木委員、高橋(誠)委員、川端委員、高田委員、梅川委員、山田委員、遠藤委員、青山委員、樋口委員、中野委員、若槻委員、大竹委員、斉藤委員、吉岡委員、三國委員、影山委員、飯田委員、田中(雅)委員、宮本委員、佐藤委員、阿部委員、大谷委員、池委員、松山委員、小川委員、田邊委員、知野委員、西潟委員、清野委員、梶委員、高橋(勝)委員、松川委員、桐生委員、北川委員、若木委員</p> <p>出席 36 名 欠席 2 名 (小沢委員、田中(鈴)委員)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">事務局・説明者</div> <p>[新潟市教育委員会] 教育総務課教育政策室長、中央図書館長補佐、中央公民館長、 教育支援センター所長</p> <p>[中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、保護課長、建設課長、東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 38 名中 36 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝佐藤会長）</p> <p>(1) 市立保育園配置計画に基づく敷島保育園の閉園（案）について（意見徴収結果）（資料 議 1）</p> <p>○ 議長より、市立保育園配置計画に基づく敷島保育園の閉園（案）について、意見聴取を行った内容を市長宛に提出すると説明がありました。</p> <p>3 報告</p>

――自治協議会委員活動報告――

(1) 中央区自治協議会委員推薦会議について（資料 報1）

- 高田座長より、第1回中央区自治協議会委員推薦会議の開催概要について報告がありました。

(2) 部会からの報告について（資料 報2-1 2-2 2-3 2-4）

- 「第1部会」中野部会長、「第2部会」大谷部会長、「第3部会」川端部会長、「第4部会」高橋（誠）部会長より、各部会の開催概要及び検討内容について報告がありました。
- 高橋（誠）委員より、第2部会で「しもまち地域活性化事業」があまり知られていないという意見があったことについて、イベントに参加する等してしもまちについてより知ってほしいという意見があり、大谷委員より、しもまちのことをより積極的に理解し、広めていきたいと返答がありました。
- 高橋（誠）委員より、第3部会の報告での「犯罪のない地域づくり事業」の防犯協会連合会による防犯機能付き電話プレゼントについて、10台プレゼントするということを付け加えてほしいという意見があり、川端委員より、そのことについては委員も説明を受け理解しており、説明を省略して申し訳なかったと返答がありました。
- 高田委員より、人生の中で子育て世代とリタイア世代の頃に新潟市が何をしてくれるか一番考えると思うので、そのような世代のことを中心に考えて部会の活動を考えたかどうかという意見がありました。
- 高橋（誠）委員より、高田委員の意見について、少子高齢化の観点から、第1部会が「理想のまち」として「賑わいのあるまち」をテーマとしているので、まず第1部会から取組みを始めてはどうかという意見がありました。
- 高田委員より、第1部会の取組みについて、柵谷小路を歩いてみるとかなり車やバスが少ないと感じ、賑わいを作り出すのはなか

なか難しいのではないかという意見がありました。

- 中野委員より、時代の流れで人の流れも変わっているかもしれないが、第 1 部会では「にいがた 2km」の一環として魅力を再発見し訪れてもらえるよう取り組んでいきたいと説明がありました。

――各所管課からの説明（報告）――

(3) 令和 3 年度教育委員会の主な事業について（資料 報 3）

- 教育総務課教育政策室長より、10 月に開催される区教育ミーティングに先立って、令和 3 年度教育委員会の主な事業について説明がありました。区教育ミーティングでは、来年度から実施されるコミュニティ・スクールについて、自治協議会委員と区担当教育委員、教育委員会事務局職員で意見交換を行う予定との説明がありました。

- 松川委員より、GIGA スクール構想について、iPad の使用による視力の低下や板書をしないことによる理解力の低下が心配であるという意見がありました。また、奨学金貸付事業について、国の貸付と併用できるのか、本当に困っていて返す見込みのない世帯に対しての支給型はないのかという質問がありました。教育政策室長より、GIGA スクール構想については、これまで行ってきた学習活動と ICT 機器を活用した学習活動を組み合わせて実施していく方向で考えていると説明があり、奨学金貸付事業については調べてから改めて回答すると説明がありました。

- 大竹委員より、アフタースクール学習支援事業についてどのような児童・生徒を対象にどのようなことを行うのかという質問があり、教育政策室長より、市内すべての中学校で、希望した生徒に対し、基礎コース、応用コースを設け、数学 10 回、英語 10 回というような形で実施すると説明がありました。

- 大竹委員より、すべての生徒ではなく、希望する生徒が受けるのかとの質問があり、教育政策室長より、後程確かめたいと回答がありました。

	4 その他 5 閉会
県議・市議	10名
傍聴者	0名
報道機関	1社